



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年11月12日
東

上場会社名 GMOコマース株式会社 上場取引所
コード番号 410A URL <http://www.gmo-c.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山名 正人
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊勢 主税 (TEL) 03(3770)7030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,803	—	409	—	394	—	256	—
2024年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	70.67	65.89
2024年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2024年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は2025年4月11日付けで普通株式1株につき普通株式666株の割合で株式分割を行っております。そのため、2025年12月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 当社は、2025年9月25日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年第3四半期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,633	2,386	65.7
2024年12月期	1,862	547	29.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,386百万円 2024年12月期 547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	22,392.77	22,392.77
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	43.05	43.05

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2025年4月11日付けで普通株式1株につき普通株式666株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2024年12月期期末の1株あたり配当金は33.62円となります。

3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,422	22.1	507	45.4	507	44.3	342	56.8	85.07

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2025年4月11日付けで普通株式1株につき普通株式666株の割合で株式分割を行っております。そのため、2025年12月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	5,164,800株	2024年12月期	3,596,400株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	—株	2024年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	3,636,615株	2024年12月期 3 Q	—株

- (注) 1. 当社は、2024年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）の記載をしておりません。
2. 当社は2025年4月11日付けで普通株式1株につき普通株式666株の割合で株式分割を行っております。そのため、2025年12月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明資料の入手方法について)

当社は、2025年11月13日に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3 四半期累計期間における我が国の経済環境は、賃上げの広がりや物価上昇の一巡を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられました。一方、金利・為替の変動や国際情勢の不確実性は企業活動の下押し要因となっております。国内においては、高水準の賃上げが続く一方で物価上昇による消費者の慎重な姿勢や、人手不足に伴う人件費の上昇などが、店舗運営における課題として認識されております。

このような状況の中、当社の事業領域である店舗販促DX・CXソリューション事業においては、消費者のデジタルシフトが一段と進展しており、店舗事業者にとって、オンラインとオフラインを融合した効果的なマーケティング戦略の重要性が増しております。また、顧客体験価値の向上に対する意識も高まっており、データに基づいたパーソナライズされた情報提供やコミュニケーションが求められております。

「すべてのお店の「マーケティングプラットフォーム」に」を経営理念として掲げる当社は、引き続き小売・飲食・アパレル・エンターテインメント業界を中心とした店舗事業者の事業成長に貢献することを目指し、マーケティングDX推進とCX向上を支援するソリューションを提供しております。

当社が考えるCX（顧客体験）向上とは、店舗事業者が顧客一人ひとりのニーズや状況を理解し、最適な情報やサービスを提供することで、顧客とのエンゲージメントを高め、長期的な関係を構築していくことです。そのため、当社は、顧客データの収集・分析、パーソナライズされたマーケティング施策の実施、効果測定・改善提案など、CX（顧客体験）向上に必要なあらゆるサービスをワンストップで提供しております。

当第3 四半期累計期間においては、収益基盤であるストック売上の増加を牽引すべく、主要サービスである「GMOマーケティングDX」および「GMOマーケティングコネクト」の機能強化を継続いたしました。特に2025年7月にリリースしたLINEとInstagramの「友だち同時登録機能」により、顧客獲得が好調に推移した結果、ストック売上が着実に増加しております。

また、高利益率のトランザクション売上を担う注力サービス「GMOマーケティングコネクト」（2025年2月リリース）は、順調に顧客数と平均単価を拡大し、トランザクション売上の増加に大きく貢献いたしました。本サービスは、消費者データの統合・分析を通じてより高度なパーソナライズマーケティングを実現し、店舗と消費者とのより深い関係構築を支援するものです。

さらに、今後のさらなる売上拡大に向けた取り組みとして、2025年10月にLINEとInstagramを自動連携しクロスチャネルでのリーチを効率的に拡大する新機能を「GMOマーケティングコネクト」に追加リリースしており、次期以降のトランザクション売上のさらなる拡大を期待しております。

以上の結果、当第3 四半期累計期間の売上高は1,803,791千円、営業利益は409,462千円、経常利益は394,551千円、四半期純利益は256,989千円となりました。

なお、当社は、CX向上ソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。また、2024年12月期第3 四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3 四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(注) 1. DX

デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略語で、企業がデータやデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルなどを抜本的に変革し、顧客に新しい価値を提供し競争優位性を築くことを意味します。

(注) 2. CX（顧客体験）

カスタマーエクスペリエンス（Customer Experience）の略語で、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客が企業やブランド、商品と接する中で得られるあらゆる体験を指します。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

＜資産、負債及び純資産の状況＞

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ1,771,616千円増加し、3,633,715千円となっております。主たる変動要因は、上場による資金調達により現金及び預金が1,690,023千円増加したことあります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ67,107千円減少し、1,247,365千円となっております。主たる変動要因は、仕入原価の減少に伴い買掛金が9,764千円減少、中間申告に伴う納付により未払法人税等が11,192千円減少、賞与支給に伴い賞与引当金が15,816千円減少したことあります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ1,838,723千円増加し、2,386,350千円となっております。主たる変動要因は、上場による資金調達により資本金及び資本剰余金がそれぞれ851,327千円増加、利益剰余金が136,068千円増加（四半期純利益により256,989千円増加、配当金の支払により120,920千円減少）したことあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績見通しにつきましては、2025年9月25日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

今後、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3 四半期会計期間 (2025年9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,715	2,509,739
売掛金	767,812	783,785
その他	44,000	43,518
貸倒引当金	△25,794	△24,901
流動資産合計	1,605,734	3,312,142
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	49,437	47,010
工具、器具及び備品（純額）	1,926	1,347
有形固定資産合計	51,363	48,357
無形固定資産		
ソフトウェア	59,192	155,291
ソフトウェア仮勘定	63,256	36,903
無形固定資産合計	122,449	192,195
投資その他の資産		
その他	82,551	81,020
投資その他の資産合計	82,551	81,020
固定資産合計	256,365	321,573
資産合計	1,862,099	3,633,715

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3 四半期会計期間 (2025年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,972	738,207
未払法人税等	89,026	77,833
契約負債	184,478	188,815
賞与引当金	28,695	12,878
役員賞与引当金	10,867	9,000
その他	213,204	180,381
流動負債合計	1,274,243	1,207,116
固定負債		
資産除去債務	40,229	40,248
固定負債合計	40,229	40,248
負債合計	1,314,472	1,247,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	951,327
資本剰余金	100,000	951,327
利益剰余金	347,626	483,695
株主資本合計	547,626	2,386,350
純資産合計	547,626	2,386,350
負債純資産合計	1,862,099	3,633,715

(2) 四半期損益計算書

第3 四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3 四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,803,791
売上原価	287,426
売上総利益	1,516,364
販売費及び一般管理費	1,106,901
営業利益	409,462
営業外収益	
受取利息	617
助成金収入	800
その他	25
営業外収益合計	1,442
営業外費用	
株式交付費	8,352
上場関連費用	8,000
営業外費用合計	16,352
経常利益	394,551
税引前四半期純利益	394,551
法人税、住民税及び事業税	133,655
法人税等調整額	3,907
法人税等合計	137,562
四半期純利益	256,989

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、CX向上ソリューション事業の単一セグメントの為、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月25日付けで東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2025年9月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式1,568,400株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ851,327千円増加しております。

この結果、当第3 四半期累計期間末において資本金が951,327千円、資本剰余金が951,327千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3 四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3 四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3 四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	37,065千円

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2025年9月25日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年8月21日及び2025年9月5日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2025年10月27日に払込が完了いたしました。

① 募集方法	: 第三者割当増資 (オーバーアロットメントによる売出し)	
② 発行する株式の種類及び数	: 普通株式	235,200株
③ 割当価格	: 1株につき	1,085.60円
④ 払込金額	: 1株につき	969.00円
⑤ 資本組入額	: 1株につき	542.80円
⑥ 割当価格の総額	:	255,333,120円
⑦ 資本組入額の総額	:	127,666,560円
⑧ 払込期日	: 2025年10月27日	
⑨ 割当先	: 大和証券株式会社	
⑩ 資金の使途	: ソフトウェア開発費用、人件費及び人材採用費、業務委託費、販売促進費に充当する予定であります。	